

水彩画教室 「五月の風／埼玉県深谷市人見」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

風を描くのは難しいです 風は大気の圧力の移動であり 地球の大気は透明だからです しかし五月上旬は風を描けます 鯉のぼりが風を受けて泳いでいるからです 赤城山からの風を受けて悠々と泳ぐ大きな鯉たち 田園風景に実によく似合います



これが完成した絵です



1、残雪の連嶺は丁寧に しかし春霞にやや彩度を落として描きます 隠し色に緑も使っています



2、空は自然なグラデーションを心がけます 地平線に近いほど薄い青になります 絵の具が乾かないうちに一気に塗ります



3、主題の鯉のぼり 風を受けて 胴体が膨らんでいる様子を 立体感を出しながら描くのが難しいです



4、このあたりの風景には 必ずケヤキの大木がほしいです やや雑になってしまいました



5、二階建ての農家 もう少し淡い色の屋根にすればよかったです



6、植え付けを待つ畑 畝はやや斜めに配したほうが画面に変化が出ます